

感染状況・医療提供体制の分析(10月20日時点)

【岡山県専門家有志】

(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計		前回の数値 (10月13日時点)	現在の数値 (10月20日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	42人 (2.2人)	41人 (2.2人)	→	総括 コメント	レベル3. 感染縮小の兆候があるが警戒が必要
		60歳以上 (総数に占める割合)	17人 (40%)	11人 (27%)	↘	新規陽性者は <u>人口10万人当たり2.2人</u> と不変も、津山・英田地域の新規陽性者、接触歴不明者の割合(46%)増加。 まん延防止等重点措置の解除後、夜間滞留人口は増加しており、新規感染者数の今後の動向には注意が必要。 ワクチン接種推進、接種完了後の感染対策継続など、現在の取組みを維持する必要がある。 <u>感染者数を低いレベルで抑え込みながら、リバウンドを防ぐべきである。</u>	
	②圏域別 新規陽性者数	県南東部	28人	10人	↘		
		県南西部	12人	13人	→		
		高梁・新見	0人	0人	→		
		真庭	0人	0人	→		
		津山・英田	2人	18人	↗		
	市中潜在・ ③新規陽性者 における 接触歴不明者	数	15人	19人	↗		
		割合 (③/①)	36%	46%	↗		
医療提供体制	④入院患者数 (確保病床における入院割合)		27人 (5%)	19人 (3%)	↘	総括 コメント	レベル1. 通常の体制で対応可能であると思われる
	⑤宿泊療養者数		22人	23人	→	入院患者数減少し、宿泊・自宅療養者も不変。通常の医療が提供できている。	
	⑥自宅療養者数		17人	16人	→		
	⑦重症者数		2人	2人	→		